

## 静岡市監査委員会議記録

会 議 令和2年度 第7回 監査委員定例協議会

開催日時 令和2年10月30日(金) 午前9時15分～11時24分

出席者 監査委員 村松 眞、白鳥三和子、山本 彰彦  
事務局長 森井 聡  
書 記 小倉 淳司  
白鳥 浩司、山田 裕、鈴木 浩之、稲葉 典子  
石川 修之、山本 和延、神山 悟  
新海 拓也、望月健司郎、杉村 浩史

---

### 会議内容

#### 1 開会宣言 小倉次長

#### 2 例月現金出納検査等(9月分)

小倉次長から、会計毎の予備検査の結果について現金出納の経理処理が適正に処理されている旨の報告があった。

その後、各会計の担当部局ごとに上半期の経営状況等の説明を聴取し、監査委員による質疑や預金証書等の確認を行った。

##### (1) 説明者等

ア 各種会計 会計管理者、静岡会計課長

イ 病院事業会計 清水病院事務局長、病院総務課長、病院施設課長、医事課長

ウ 水道事業会計 上下水道局次長兼水道部長、経営企画課長、お客様サービス課長

エ 簡易水道事業会計 保健衛生医療部長、参与兼保健衛生医療課長、保健衛生医療課簡易水道担当課長、保健衛生医療課参事

オ 下水道事業会計 下水道部長、下水道総務課長

##### (2) 発言等

ア 各種会計

(山本委員)

新型コロナウイルスの関係で減免の状況について教えてほしい。

(静岡会計課)

具体的な数字はまだわからないが、会計課としては支払資金に留意し、翌月分の資金計画の報告とは別に、令和3年5月までの資金状況の照会をし、現在資金の見通しを精査している。

(村松代表)

歳入に関して、例えば市税が減少した場合の補填債の状況など、財政課との定期的な打ち合わせはこれからはじまるのか。

(静岡会計課)

財政課とこれから協議をしていく。

(白鳥委員)

民生費の執行率が60.2%と昨年度に比べて高くなっているが、その内容を教えてほしい。

(静岡会計課)

新型コロナウイルス関連事業で特別定額給付金（一人10万円）が692億円と一番影響が大きい。

#### イ 病院事業会計

(山本委員)

以前、病院の今後の在り方について検討するとの話があったが、これは今年度のコロナ禍の状況をベースに検討するのか、又は昨年度までの患者数などの実績をベースとするのか、お答えいただきたい。

(清水病院)

御指摘のとおり、今年度はコロナによる受診控え等が影響している。最近は外来患者数が徐々に戻ってきているが、依然入院患者数は戻っていない。コロナの終息で入院患者数も回復するという見方があるが、コロナをきっかけに住民の「病院にかかる」という意識に変化が生じているとも考えられる。おっしゃるとおり、実績に基づいて計画を練っているところだが、コロナ後の医療の状況も併せて考えていかなければならない。これらの変化も見極めて計画を策定していく考えである。

(村松代表)

今の回答は清水病院ビジョン検討会議についての回答と考えるが、決算審査の場で、2つの会議（清水病院ビジョン検討会議及び医療体制検討協議会）について説明があった。これらは今年度既に実施したのか。

(清水病院)

医療体制検討協議会は11月に実施する予定である。清水病院ビジョン検討会議については、コロナ対策もありここまで開催してこなかったが、これも11月から12月までの間に開催する予定となっている。

(村松代表)

2つの会議はここまで開催できていなかったということか。

(清水病院)

そうである。

(村松代表)

先ほどの山本委員への回答が、医療体制検討協議会を行う上でも材料になってくるということか。

(清水病院)

医療体制検討協議会では、桜ヶ丘病院移転を踏まえた清水区の医療体制を検討すると聞いている。今回は、清水区の医療需要を念頭に、救急医療体制を中心とした検討をするとしている。

(村松代表)

令和2年9月末時点での入院患者数について、特に地域包括ケア病棟の患者数が激減している理由はあるのか。

(清水病院)

当院の地域包括ケア病棟は、一般病棟に慢性的に入院させず、退院支援をするのが主な役割である。一般病棟でコロナの影響が出ていることなど、全体的な要因で入院患者が減少しており、その関係で特に地域包括ケア病棟に大きな影響が出ていると考える。

(村松代表)

コロナとは別に、清水病院の本来の問題点である、循環器内科の医師不在などの影響は分析しているのか。

(清水病院)

昨年度ベースでは、循環器内科は1日10人程度の入院患者がいた。これは純粋に循環器内科の患者数だが、これ以外にカテーテル手術の対応ができなくなったことで、見えない影響が出ているということかもしれない。

(村松代表)

そうなると、(医師確保のために) どう手当てするかが問題になるが。

(清水病院)

今のところは、いろいろな大学病院に働きかけを行っている。

(村松代表)

このようなことは、戦略的に行っていかなければならない。何か考えはあるか。

(清水病院)

地道にやるしかないが、外来では静岡病院からの応援医師もいる。医師確保については、清水病院だけでなく保健福祉長寿局の力も借りて努力していきたい。

ウ 水道事業会計

(白鳥委員)

収益的収支の委託料の予算対比の執行率が23.9%であるが、上半期に何かやるべきことができているのか。

(水道)

前年度比は106.2%となっており、例年同時期の執行率と大きな違いはない。

(村松代表)

料金改定を半年延ばした際、歳入予算の減額補正はしたか。

(水道)

そのとおり。

(村松代表)

当初予算と比べると影響はあるのか。

(水道)

補正で4億8,000万円ほど歳入予算の減額をしているが、料金改定をしなかったときと比較しても、ほぼ同水準である。

(村松代表)

歳出予算に影響も出ているのか。

(水道)

4億8,000万円減額した分の歳入の回収はできないので、水道事業全体の中期経営計画の見直しにも着手をしている。

(村松代表)

その影響により、中止とする事業はあるのか。

(水道)

影響を踏まえた事業の見直しについては、現在、検討している段階である。

エ 簡易水道事業会計

特になし

オ 下水道事業会計

特になし

3 協議会議事

(1) 協議事項

協第26号 指摘事項に対する措置状況(定期監査)の公表について

① 説明者 白鳥次長補佐

② 要旨 議案集により説明

- ③ 発言等  
特になし

(2) その他連絡事項

- ア 令和2年度第6回定例協議会の議事録の公表について  
・・・・・・・・白鳥次長補佐が説明
- イ 11・12月の日程について  
・・・・・・・・小倉次長が説明

4 閉会宣言 小倉次長